

元気！ 第一っ子



生徒指導担当 仲島
令和4年6月9日発行

6月に突入しました。1学期が早くも半分終わったこととなります。衣替えも完全実施となり、いよいよ夏が始まろうとしていますね。子どもたちの心と体に良い汗が光るよう教育活動に邁進してまいります。

6月のあいさつ運動が行われました

6月1日から子どもたちによる朝の「あいさつ運動」が行われました。今回は3年生をスタートにどの学年も「大きな声」「明るい声」「張りのある声」で頑張りました。これを機に良いあいさつをする習慣が身につくとよいと思います。

さて、4月号に引き続き、あいさつはなぜするのでしょうか。大人であれば誰しもが個々に理由を話すことができますと思います。子どもたちはどうでしょう。「親や先生に言われるから」と、その真髄にまで迫っている子は少ないと思います。

では、いつ、あいさつの意義に気付く時が来るのでしょうか。その子その子により時期は異なり、子どものうちに気付く者、大人になってから気付く者、何か失敗して気付く者、様々かと思えます。その子どもたちの気付きを促すためにも大人である親や教師が常日頃から、何らかの形で子どもたちに声を掛けていく必要があるのではないのでしょうか。



校内に響き渡る
5年生のあいさつでした！

6月の生活目標は「清潔に気をつけよう」です

押水第一小学校の6月の生活目標は「清潔に気をつけよう」です。新型コロナウイルスの感染拡大がまだまだ続いております。また、気温と湿度の上昇に伴い、食中毒や熱中症の心配も合わせて出てきます。手洗い・うがい・消毒に加え、水分補給も忘れずに行いたいところです。水筒にお茶や水を入れて持たせていただきますようよろしくお願いいたします。

さて、「清潔」とは若干ずれている部分もあるかと思いますが、衣替えが完全実施となり、服装について気になる点がございます。それは、「男子児童のシャツ出し」です。何か格好いいのでしょうか。私個人的な見解ではありますが、制服やスーツのシャツを出していることに格好良さを全く感じません。むしろ、だらしなさの方が目立ちます。正しい身なりについて継続的に指導を行い、将来受験生になった時、社会人として世の中に出ていく時にふさわしい習慣が身につくようにしたいと考えております。